

登録コード	E2921900	開講年度	2026	県内大学開放授業			
授業科目	英語コミュニケーション・リスニング				担当教員	金子 史彦 他	
英文授業名	English Communication Listening				副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・5時限	対象学生	2～4年生
講義室	教育N 2 0 3 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	・英語の聞き取りを学ぶことにより、教員としての公共的使命感や倫理観を身に付ける。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	・英語を聞き取り内容を理解できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	児童英語文学を題材としたリスニング教材を聞き取り、その内容に基づいた問題を作ったりする演習を行っていく。						
(5)授業計画	第 1 回：Alice’s Adventures in Wonderland 1, 聞き取りの基礎 第 2 回：Alice’s Adventures in Wonderland 2, スキミング 第 3 回：Alice’s Adventures in Wonderland 3, スキャニング 第 4 回：Alice’s Adventures in Wonderland 4, 精“聴” 第 5 回：Alice’s Adventures in Wonderland 5, 目的を持って聞き取る練習 第 6 回：Alice’s Adventures in Wonderland 6, ディクテーション 第 7 回：Alice’s Adventures in Wonderland 7, 聞き取り問題の作成の練習 第 8 回：Alice’s Adventures in Wonderland 8, 『不思議の国のアリス』総括 第 9 回：Beauty and the Beast1, 既知と聴解力の関係 第10回：Beauty and the Beast 2, 聞き取った内容を発信する練習 第11回：Beauty and the Beast 3, 聞き取った内容を簡潔にまとめる練習 第12回：Beauty and the Beast 4, 骨組みを捉える聞き取りの練習 第13回：Beauty and the Beast 5, ポイントとなる情報を聞き取る練習 第14回：Beauty and the Beast 6, 『オズの魔法使い』総括 最後の 1 5 分間で授業アンケートを実施する 第 1 5 回：定期試験 教育実習による欠席分については補講を行う。						
(6)成績評価の方法	英語を聞き取り聞き取り、内容を理解し、それを活用する能力を測るための、定期試験 100% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	定期試験：聴いた英語の内容をよく理解しそれを上手く活用出来ていれば「卓越している」、理解は出来ているがそれを上手く表現できていなければ「かなり上にある」、やや理解不足であれば「やや上にある」、理解出来ていなければ「その水準にある」						
(8)事前事後学習の内容	この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。						
(9)履修上の注意	対面授業。 聞き取りは集中力が大切であり、常に集中力をもって臨むことが必要である。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	N229, 内線4193, E-Mail: kanekof@shinshu-u.ac.jp, オフィスアワー木曜日3限、4限、その他予約で対応。						
【教科書】	指定しない						
【参考文献】	指定しない						